

鼻からの胃カメラの流れ

① 食事の制限

- ・前日の午後 9 時以降は絶食です。水、お茶は検査 2 時間前まで飲んで頂いても構いません。

② 検査室へのご案内

- ・時間が来ましたら、内視鏡室へご案内いたします。



③ 検査前の準備

- ・胃の中をきれいにする水薬(消泡剤)を飲みます。



飲んだ後、ベッドで仰向けに横になり、右向きから 1 回転して頂きます。



- ・鼻腔を広げる薬を噴霧します。



鼻が少しツーンとすることがあります。
薬液が、のどの方にたれてきたら、飲み込んでください。
この薬は、鼻出血をしにくくする効果もあります。

- ・鼻の通りの良い方を教えて頂きます。



しばらくしましたら、鼻を片方ずつ押えて頂き、
息の通りやすい方を教えて頂きます。

- ・鼻の麻酔をします。



息の通りやすい方に麻酔のゼリーを入れます。
この時も、鼻が少しツーンとします。
のどの奥の方に麻酔のゼリーがたれてきたら、
飲み込んでください。
麻酔を行った方の鼻から、胃カメラを挿入いたします。

- ・さらに鼻腔を広げるために、カテーテルを入れます。



胃カメラより少し細いカテーテルをゆっくり鼻に入れます。
(鼻腔の狭い方は、痛みが強いこともあります。その時は
看護師に教えてください。)
カテーテルを入れた状態で 3 分経過したら検査を開始致します。

④検査開始

・左側を向いて横になります。



このモニターに、患者さまの食道・胃・十二指腸
の様子が映っています。
余裕のある方はご覧ください。
胃カメラが入っていく時は、口で呼吸をして、
肩の力を抜きリラックスしてください。

検査時間は 5 分～10 分です。

鼻からの胃カメラは検査中に、お話ができます。

モニターを見ていて気になることがありましたら、遠慮なく医師に質問
してください。

診断を確かめるために、色をつけたり、組織を採ることがありますが、
痛みはありません。

また、血が出ますがすぐに止まりますので心配はいりません



⑤検査終了後

・口をすすぎます。 **1 時間ほどは飲んだり食べたりできません**

洗面所に、紙コップ・ティッシュを用意してあります。
ご自由にお使いください。
上を向いてうがいをしますとむせますので、下を向い
て口をすすぐ程度にしてください。



⑥医師からの説明

- ・ 診察室に入って頂き、画像を見ながら結果を説明させていただきます。



分からないことがございましたら、
看護師にお尋ねください。